

# 乃木地域まちづくり総合戦略

## ふれあい・ささえあい・たすけあいのまちづくり

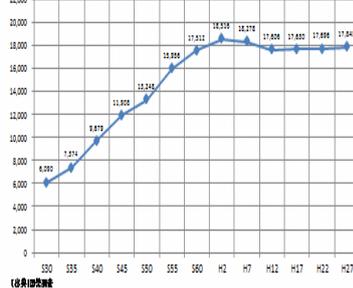
### 乃木地域の特徴

- 山陰道の整備とともに、松江市の西の玄関口として発展してきた。
- 県立大学松江キャンパス、県立松江商業高等学校、県立松江農林高等学校をはじめ、教育機関が多数存在している。
- 昭和57年第37回くにびき国体の主会場として松江市総合運動公園が整備される。市内最大の公園として、主要なスポーツ大会の会場として、広く活用されている。
- 平成7年田和山の区画整理事業により、新しい商業エリア・住居エリアが形成され、平成17年には松江市市立病院が移転新築し、橋南部の新しい拠点市街地となっている。

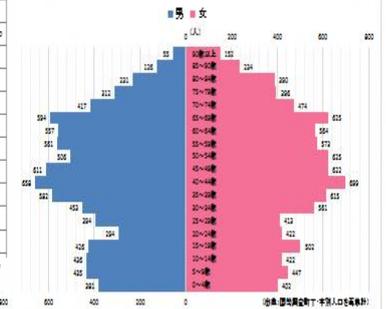


### 乃木地域の人口

総人口の推移(乃木地区)



2016年人口ピラミッド(乃木地区)



- 平成2年が最も多く、18,516人。以降、わずかであるが減少している。
- 5歳刻みの年齢別人口構成では、75歳以上の高齢者数は比較的少なく、60～74歳のいわゆる定年退職から前期高齢者までのアクティブシニア層が多い。現時点では、高齢化率も23%と他地区に比べて低い状況にあるが、数年後には、高齢化が急激に進むことも懸念される。
- 若年層においては、15歳未満の子どもは比較的多いが、20～24歳は目立って低い。進学・就職に際しての人口流出は本地区においても顕著にみられる。

## 乃木地域の課題と戦略(アイデア)

### 1. 少子高齢化・子育て

- 子どもの数が減少している。
- 若い人がいなくなって年寄が多くなってきた。さらには、空き家が出るようになった。
- 核家族化で地域関係が希薄になってきている。
- 空き家増(高齢) 高齢化、単独居化が進み、福祉の手が追いつかない。
- 若い人と高齢者との交流の場がない。
- コミュニケーションを取れる場所がほしい。(ミニ公園、イベントなど)
- 子どもが安心して遊べる場所が近くにない(公園など)

#### 戦略(アイデア)

- 昔にはあった自治会の夏祭り、どんどさんや運動会等の復活
- コミュニケーションづくり、対話ができるようなイベント
- 県立大学をオープンに(施設、知識)
- 学校と町内会がもっと協力体制を築きたい
- 地元の活動に学生を受け入れる

### 2. 環境・道路整備

- 児童・生徒の通学路が狭く、交通量も増加している。(JR乃木駅～学校、乃木小学校前)
- 交通弱者多数 バス停が遠い。足がない。
- 市道の舗装 工事でデコボコ・かまぼこ型踏切が危険
- 空き家が増えているため、事故や火災が心配される。
- 街路樹の落ち葉の清掃作業が大変。除去しないと道路排水が悪くなる。
- 積雪時の対応。除雪作業、凍結対策(上乃木三叉路～乃木駅、嫁島跨線橋)
- のらねこが増え、糞害で困る
- タバコの吸い殻、コンビニの食べかすが捨ててある。
- 各高校の廻りが夜になる暗いので防犯灯等で明るくしてほしい。

#### 戦略(アイデア)

- 文教の町として自転車通学しやすい環境整備を行う
- 山居川をきれいにする
- 川沿いの草刈り 水害対策
- 環境美化 草刈り、ごみ広い
- 落ち葉リサイクル

### 3. 自治会活動

- 役所の仕事で自治会の仕事が増えている
- 自治会役員のなり手がいない
- 集会所の不足
- 様々な組織があるが、組織同士のつながりが弱い
- アパート・マンションが多く、自治会に入っている世帯が少ない
- 町内会入会のメリットがわからない。
- 商業地区と住宅地区が混在し、落差がある
- 自治会の参加意識が低い

#### 戦略(アイデア)

- 自治会ごとに活動している既存の組織の連携を図る
- イベントごとに直会をやる。積極的に出てください。
- 回覧板で町内の子どもたちの活躍の情報を発信する。

### 4. 私たちの町でやってみたいこと(湖南中学校生徒会)

#### 地域活動・イベント

- 乃木町民体育祭に積極的に参加!
- 地域活動を通して小中学生の交流
- 地域で大きな音楽祭イベント

#### 自然

- 宍道湖だけの生き物で水族館を作る
- 農業体験
- 嫁が島に公園を作る
- 宍道湖をきれいにする
- 夕日スポットを作る
- 山居川産のうなぎ

#### 施設

- テーマパークを作る
- ディズニーランドを作る
- 大きなショッピングモールを作る
- 公園に遊具を増やす
- 乃木全体がFREE-wifi
- 高齢者の娯楽づくり

#### 交通

- 乃木駅に新幹線を通す
- 道路をきれいにする